

税金にふれる

所沢市立所沢中学校

三年 瀧 和寿彰

私は今まで税金について深く考えたことはありませんでした。ただただ国にお金をわたしているのかなぐらいの気持ちでお会計をしていました。私はよく体調をくずすのでよく病院に行っていました。ある時、体調をくずしたのでいつも通り病院に行くと、受けつけでお金を払っているおじさんを見ました。いつも私の親が受け付けでお金を払っているところなんて見たことがなかったので不思議に思い、親に聞いてみると、

「ああ、病院でタダで見てもらえるのは、今のうちかもしれないよ。」

と言われて驚いたのを覚えています。これをきっかけに税金について考えてみようと思いました。

税金について考えてみて一番に思うことはやはり消費税です。普段何気なく払っていたけど、よく考えると何で買うだけで税がとられるのか、その税金はどこに誰のところに行くのか、払ったことで私たちに得はあるのかと考えてしまいます。税金がどこに使われるのか、私たちへのメリットは何かいまいち分からなかったのもう一度親に聞いてみると

「じゃあ、教科書はだれのお金で買っているの？」

と言われ、はっとしました。今まで病院に行った時以外で自分に税金が関わっていることを考えていなかったもので、こんなに

身近なものも税金が関わっていると思うと、普段は何気なく払っていて、自分には得がないと思っていた税金が私たちの生活をより豊かなものにしてくれて、老若男女すべての人の生活を豊かにできる税金は素晴らしいものだなと思いました。

私たちは、税金を払ったことで何か得やメリットがあるのかを考えるのではなく、私たちの生活や身近なところによろしく税金が使われているのか、関わっているのかを考えて、税金のありがたみを知り、よりたくさんの人の生活が豊かになっていくことを知り税金と関わっていききたいと思いました。